

# CASBEE®-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)グランフォーレ博多ウオーターフロント 新	階数	地上14F
建設地	福岡県福岡市博多区石城町104-	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	XX 人
地域区分	7地域	年間使用時間	XXX 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年2月 予定	評価の実施日	2021年9月22日
敷地面積	1,567 m <sup>2</sup>	作成者	宗信 宏隆
建築面積	971 m <sup>2</sup>	確認日	201●年●月●日
延床面積	9,415 m <sup>2</sup>	確認者	○○○

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.7

#### Q1 室内環境 Q1のスコア= 2.8

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア= 2.9

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.3

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.2

#### LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.9

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.8

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 2.8

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の特性や景観に配慮した建物を目指し、室内環境・室外環境への配慮を行う事で、地球環境保全に貢献しています。</li> <li>道路に面した部分に植栽帯を設け、緑豊かな景観に配慮しました。</li> </ul>		
<h4>Q1 室内環境</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li>階段遮音性能に配慮しました。また、ホルムアルデヒドの発散を抑えた建材を使用し、安全で快適な居室空間に努めました。</li> <li>内装材等にはF☆☆☆☆を採用しました。</li> </ul>	<h4>Q2 サービス性能</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li>段差や廊下幅などバリアフリーに配慮し、高齢者や障がい者の方にも安心して安全な建物を目指しました。</li> <li>福岡市福祉のまちづくり条例の整備基準をクリアしました。</li> </ul>	<h4>Q3 室外環境(敷地内)</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li>敷地は大通りからも見えるため、周囲の街並みに配慮した景観計画としました。</li> <li>道路に面した部分に植栽帯を設け、緑豊かな景観に配慮しました。</li> </ul>
<h4>LR1 エネルギー</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li>LED照明などの高効率設備機器を採用しました。</li> </ul>	<h4>LR2 資源・マテリアル</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li>屋外駐車場の一部を住棟内に取込み、屋外アスファルト面を縮小するなど、ヒートアイランド現象の緩和を図りました。</li> <li>1階の約半分を駐車場として計画しました。</li> </ul>	<h4>LR3 敷地外環境</h4> <ul style="list-style-type: none"> <li>光害(漏れ光など)によって周囲に悪影響を与えないよう、外灯などの照明器具は 設置位置や高さに配慮しました。</li> <li>外灯の点灯・消灯はタイムスケジュール制御としています。</li> </ul>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される